

GP-730W

ネットワーク設定ガイド

マークの意味



必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、プリンターの故障やソフトウェアの動作不良の原因になる可能性があります。



補足説明や参考情報を記載しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。お使いのウェブブラウザにより表示が異なることがありますが、操作方法は同じです。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版 (32bit/64bit)

Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版 (32bit/64bit)

Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版 (SP1 以降 (32bit/64bit))

Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 (SP2 以降 (32bit/64bit))

Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 (SP3 以降 (32bit))

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版 (64bit)

Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版 (64bit)

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版 (64bit)

Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 (32bit/64bit)

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system 日本語版 (32bit)

Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 (32bit)

本書では、Windows オペレーティングシステムの各バージョンを「Windows 8.1」、「Windows 8」、「Windows 7」、「Windows Vista」、「Windows XP」、「Windows Server 2012 R2」、「Windows Server 2012」、「Windows Server 2008 R2」、「Windows Server 2008」、「Windows Server 2003 R2」、「Windows Server 2003」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 8.1/8/7/Vista」のように Windows の表記を省略することがあります。

商標

- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Google Chrome は Google Inc. の商標です。
- Firefox® は Mozilla Foundation の登録商標です。
- その他の製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

はじめに	4
ネットワーク設定するソフトウェア	5
Web Config の概要	5
Web Config の起動	5
無線 LAN 機能の有効化	5
Web Config と EpsonNet Config の機能差	8
Web Config でのネットワーク設定	9
基本設定	9
SSL/TLS 設定	11
プリンターのサーバー証明書の設定	11
無線設定 (WPA2-Enterprise 以外)	13
無線設定 (WPA2-Enterprise)	14
証明書の設定	16
CA 署名証明書の取得とインポート	17
自己署名証明書の更新	21
トラブルを解決する	22
ソフトウェア使用時のトラブル	22
セキュア環境への接続時のトラブル	23
電子証明書使用時のトラブル	23
設定や印刷に関するトラブル	25



はじめに

GP-730W のネットワーク設定は、プリンターが搭載している Web Config 機能、または CD-ROM に収録されているソフトウェア「EpsonNet Config」で行うことができます。

本書では、Web Config 機能でのネットワーク設定方法について説明します。

EpsonNet Config の使用方法については、EpsonNet Config のマニュアルを参照してください。

ネットワーク設定するソフトウェア

Web Config の概要

Web Config はプリンターのネットワークに関する設定確認や変更がウェブブラウザ上で行えるソフトウェアです。本製品では、下記のブラウザで動作確認をしています。

- Internet Explorer 8
- Internet Explorer 9
- Internet Explorer 10
- Internet Explorer 11
- Firefox
- Google Chrome

Web Config の表示画面は、利用するブラウザにより本書とは異なる場合があります。

Web Config の起動

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからウェブブラウザを起動して、プリンターの IP アドレスを入力します。ウェブブラウザの JavaScript を有効にしてください。なお、HTTPS アクセス時はプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Config を起動するとウェブブラウザに警告が表示されます。

- HTTP アクセス時： `http:// <プリンターの IP アドレス> (< >は除く)`
- HTTPS アクセス時： `https:// <プリンターの IP アドレス> (< >は除く)`



- 工場出荷時の IP アドレスは、192.168.192.168 です。
- 工場出荷時は、HTTP でアクセスすると自動的に HTTPS アクセスに切り替わるように設定されています。

無線 LAN 機能の有効化

初期設定では、無線 LAN 機能が無効になっています。本製品で無線 LAN 機能を利用するためには、EpsonNet Config の [ネットワーク I/F] - [ネットワーク] - [基本 (無線)] メニューで [無線 LAN を有効にする] をチェックするか、Web Config で無線 LAN 機能を有効にします。

ここでは、Web Config で無線 LAN 機能を有効にする手順を説明します。

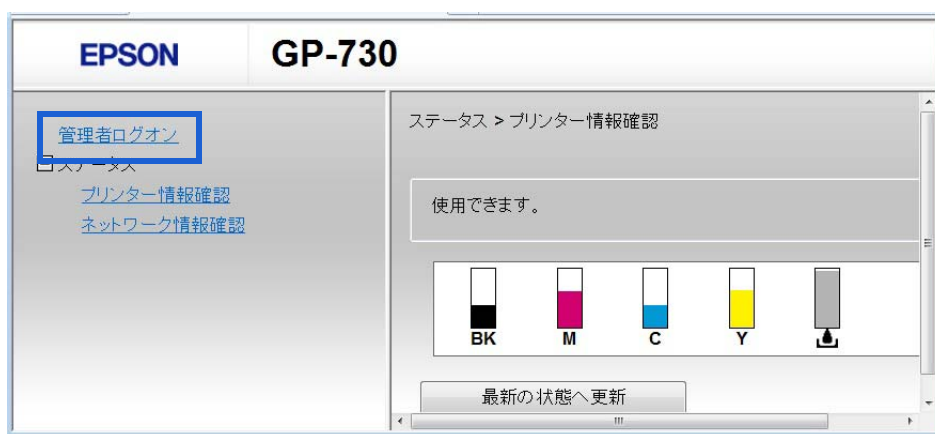
- 1 コンピューターとプリンターをイーサネットケーブルで接続します。
- 2 コンピューターの IP アドレスを、プリンターと同じネットワークセグメントの IP アドレスに変更します。
例：
プリンターの IP アドレスが 192.168.192.168 (工場出荷時設定) の場合、コンピューターの IP アドレスを 192.168.192.xxx (xxx は 0 ~ 254) に設定します。
- 3 プリンターの電源を入れます。
- 4 コンピューター上でウェブブラウザを起動し、URL 入力欄に「`http://<プリンターの IP アドレス>`」を入力します。
例： `http://192.168.192.168`

- 5 ウェブブラウザ上に以下のような警告画面が表示されたら、[このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。] をクリックします。



表示内容は、ご使用のブラウザによって異なります。

- 6 トップ画面で[管理者ログオン] をクリックします。



- 7 管理者パスワードを入力し、[確認] ボタンをクリックします。



参考 工場出荷時の管理者パスワードは「epson」です。

- 8 [無線設定] の [無線設定 (WPA2-Enterprise 以外)] または [無線設定 (WPA2-Enterprise)] をクリックし、無線 LAN を [有効] にします。

- 9 接続したいアクセスポイントに合わせた無線設定項目を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

- 10 プリンターに設定する無線項目が表示されます。内容に誤りがなければ [設定] ボタンをクリックします。

11

設定中を示す画面が表示されます。



以上で設定は完了です。ケーブルを抜くと、アクセスポイントに自動的に接続します（無線設定内容により接続に数分かかることがあります）。

Web Config と EpsonNet Config の機能差

プリンターのネットワークインターフェイス設定や情報を表示するソフトウェアには、Web Config と EpsonNet Config があります。

以下は、本書で説明している機能と両ソフトウェアの機能の比較です。

機能	Web Config	EpsonNet Config
ネットワーク基本設定	○	○
SSL/TLS 設定	○	○
プリンターのサーバー証明書の設定	○	○
無線設定（WPA2-Enterprise 以外）	○	○
無線設定（WPA2-Enterprise）	○	○
証明書の設定	○	○
CA 署名証明書の取得とインポート ^{*1}	○	×
自己署名証明書の更新 ^{*2}	○	×

^{*1} CA 署名証明書の取得とインポート：無線 LAN のセキュリティを向上させた接続方式である WPA2-Enterprise を利用する際に必要となります。

^{*2} 自己署名証明書の更新：Web Config の通信に HTTPS を用いる場合に行います。

Web Config でのネットワーク設定

本章では、Web Config を使った以下の設定方法について説明します。

- ネットワーク基本設定
- SSL/TLS 設定
- プリンターのサーバー証明書の設定
- 無線設定（WPA2-Enterprise 以外）
- 無線設定（WPA2-Enterprise）
- 証明書の設定
- CA 署名証明書の取得とインポート
- 自己署名証明書の更新

これらの設定を行うには、管理者ログオンをする必要があります。管理者ログオンの手順は、以下を参照してください。

[🔗 5 ページ「無線 LAN 機能の有効化」](#)

基本設定

- 1 Web Config で【ネットワーク設定】 - 【基本設定】の順にクリックします。
- 2 各項目を設定します。
- 3 【次へ】をクリックします。
確認画面が表示されます。
- 4 【設定】をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

基本設定の設定項目

ネットワーク設定 > 基本設定	
プリンター名:	EPSON12345
ロケーション:	
TCP/IP 設定:	☐ 自動設定 ☒ 手動設定
IPアドレス:	192.168.192.168
サブネットマスク:	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ:	
DNSサーバー設定:	☐ 自動設定 ☒ 手動設定
プライマリーDNSサーバー:	
セカンダリーDNSサーバー:	

次へ

項目	説明
プリンター名	プリンターを識別するために設定する任意の文字列です。 テキストボックスに文字数 2 ～ 15 文字（1 文字は不可）の範囲で入力します。 • 使用できる文字：A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9、-（半角スペースは不可） • 先頭に使用できる文字：A ～ Z、a ～ z（0 ～ 9、- は不可） • 2 文字目以降に使用できる文字：A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9（- は不可）
ロケーション	必要に応じてプリンターの設置場所を入力します。 最大 127 文字の任意の文字列を入力できます。
TCP/IP 設定	IP アドレスの取得方法を選択します。 • 自動設定：DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得します。 • 手動設定：設定された IP アドレスを使用します。
IP アドレス	TCP/IP 設定が「手動設定」のときに使う IP アドレスです。 • 「xxx.xxx.xxx.xxx」形式でテキストボックスに入力します。 「xxx」部分は 0 ～ 255 の数字を入力してください。 • 以下の IP アドレスは設定できません。 0.xxx.xxx.xxx ブロードキャストアドレス (255.255.255.255) ループバックアドレス (127.0.0.1) ネットワークアドレス ディレクティッド・ブロードキャストアドレス マルチキャストアドレス (224.0.0.0 ～ 239.255.255.255)
サブネットマスク	TCP/IP 設定が「手動設定」のときのサブネットマスクです。 • 「xxx.xxx.xxx.xxx」形式でテキストボックスに入力します。 「xxx」部分は 0 ～ 255 の数字を入力してください。 • 以下の IP アドレスは設定できません。 ブロードキャストアドレス (255.255.255.255) 非連続マスクビット (255.0.255.0、0.0.0.0)
デフォルトゲートウェイ	TCP/IP 設定が「手動設定」のときのデフォルトゲートウェイです。 • 「xxx.xxx.xxx.xxx」形式でテキストボックスに入力します。 「xxx」部分は 0 ～ 255 の数字を入力してください。 • 以下の IP アドレスは設定できません。 0.xxx.xxx.xxx（ただし 0.0.0.0 は許可する） ブロードキャストアドレス (255.255.255.255) ネットワークアドレス ディレクティッド・ブロードキャストアドレス マルチキャストアドレス (224.0.0.0 ～ 239.255.255.255) IP アドレスとネットワークアドレスが異なるアドレス
DNS サーバー設定	DNS サーバーの取得方法を選択します。 • 自動設定：DHCP サーバーから DNS サーバーアドレスを自動取得します。 • 手動設定：設定された DNS サーバーアドレスを使用します。
プライマリー DNS サーバー	DNS サーバー設定が「手動設定」のときの、プライマリー DNS サーバーのアドレスです。 • 「xxx.xxx.xxx.xxx」形式でテキストボックスに入力します。 「xxx」部分は 0 ～ 255 の数字を入力してください。 • ブロードキャストアドレス (255.255.255.255) は設定できません。 • 「0.0.0.0」は設定できません。
セカンダリー DNS サーバー	DNS サーバー設定が「手動設定」のときのセカンダリー DNS サーバーのアドレスです。 入力形式はプライマリー DNS サーバーと同じです。

SSL/TLS 設定

1 Web Config で [ネットワーク設定] - [SSL/TLS] - [基本設定] の順にクリックします。

2 各項目を設定します。

- 暗号強度
以下のいずれかを選択します。
高い：AES256/3DES
標準：AES256/3DES/AES128/RC4
- HTTP を HTTPS にリダイレクト
[有効] を選ぶと、HTTP でのアクセス時に HTTPS へのリダイレクトを行います。
[無効] を選ぶと、管理者ログインができなくなります。管理者ログインができないと、Web Config でのネットワーク設定ができません。
[無効] から [有効] に変更する場合は、EpsonNet Config を起動し、SSL/TLS の設定画面でリダイレクトを使用する設定にしてください。



3 [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

4 [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

プリンターのサーバー証明書の設定

1 Web Config で [ネットワーク設定] - [SSL/TLS] - [証明書] の順にクリックします。

2 [使用するサーバー証明書] で使用する電子証明書を選択します。

3 [設定] をクリックします。

確認画面が表示されます。

4 [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

SSL/TLS 証明書設定の設定項目

ネットワーク設定 > SSL/TLS > 証明書

CA署名証明書

CA署名証明書1

インポート 表示 削除

Subject : DC=local, DC=wifilabs, CN=Users, CN=wifi-user

有効期限 : Jan 1 00:00:00 2025 GMT

CA署名証明書2

インポート 表示 削除

CSR

生成 ダウンロード(PEM) ダウンロード(DER)

自己署名証明書

更新 表示

Subject : C=JP, CN=192.168.192.240, O=SEIKO EPSON CORP.

有効期限 : Nov 1 10:30:50 2023 GMT

使用するサーバー証明書 : 自己署名証明書 設定

項目	ボタン	説明
CA 署名証明書 1 CA 署名証明書 2	インポート	CA 署名証明書のインポート設定画面が開きます。 CA 署名証明書 1 または CA 署名証明書 2 がインポートされていない場合に選択できます。
	表示	CA 署名証明書の情報確認画面が開きます。 CA 署名証明書 1 または CA 署名証明書 2 がインポート済みのときに選択できます。
	削除	ポップアップ表示後、インポート済みの CA 署名証明書を削除します。 CA 署名証明書 1 または CA 署名証明書 2 がインポート済みで、かつ、使用するサーバー証明書で未選択のときに選択できます。
	Subject	証明書のサブジェクトを表示します。
	有効期限	証明書の有効期限を表示します。
CSR	生成	CSR を生成するための設定画面が開きます。
	ダウンロード (PEM)	生成した CSR を PEM 形式でダウンロードします。
	ダウンロード (DER)	生成した CSR を DER 形式でダウンロードします。
自己署名証明書	更新	自己署名証明書の更新 / 作成の設定画面が開きます。 日付時刻が未設定の場合は、日時未設定のエラーが表示されます。
	表示	自己署名証明書の情報確認画面が開きます。
	Subject	証明書のサブジェクトを表示します。
	有効期限	証明書の有効期限を表示します。
使用するサーバー証明書	設定	使用するサーバー証明書を切り替えます。 - 自己署名証明書：プリンターに内蔵されている自己署名証明書です。CA 署名証明書を取得していない場合に選択してください。 - CA 署名証明書：プリンターに CA 署名証明書をインポートすると選択できます。

！重要 HTTPS へのリダイレクト有効時に、[使用するサーバー証明書] に不正なサーバー証明書を設定すると、HTTPS 通信が行えないために Web Config にアクセスできなくなります。その場合は EpsonNet Config で「自己署名証明書」に変更してから、Web Config で正しいサーバー証明書を設定してください。

無線設定(WPA2-Enterprise 以外)

- 1 Web Config で [無線設定] - [無線設定 (WPA2-Enterprise 以外)] の順にクリックします。

参考 WPA2-Enterprise を利用する場合は、[無線設定] - [無線設定 (WPA2-Enterprise)] 画面で設定して下さい。
[14 ページ「無線設定 \(WPA2-Enterprise\)」](#)

- 2 各項目を設定します。

- 3 [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。

- 4 [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

無線設定(WPA2-Enterprise 以外)の設定項目

無線設定 > 無線設定(WPA2-Enterprise以外)

WPA2-Enterprise利用時は[無線設定\(WPA2-Enterprise\)](#)ページで設定して下さい

無線LAN:	☒ 有効 ☐ 無効
無線モード:	IEEE802.11b/g/n
通信モード:	インフラストラクチャー
ネットワーク(SSID):	EpsonNet
チャンネル:	11
セキュリティ設定:	WPA2-PSK
事前共有キー:	
デフォルトキー:	キー1
WEPキー1:	HEX
WEPキー2:	HEX
WEPキー3:	HEX
WEPキー4:	HEX

次へ

項目	説明
無線 LAN	無線 LAN を利用するときは、有効を選択してください。
無線モード	無線モードを設定します。以下のモードを選択できます。 自動、IEEE802.11b、IEEE802.11b/g、IEEE802.11b/g/n、IEEE802.11a、IEEE802.11a/n
通信モード	通信方法を設定します。以下の項目を選択できます。 インフラストラクチャー、アドホック
ネットワーク (SSID)	SSID を入力します。 入力可能文字は、1 ～ 32 文字の範囲で、半角英数字、半角記号です。

項目	説明
チャンネル	無線モードが IEEE802.11b、IEEE802.11b/g、IEEE802.11a のときに、アドホックで利用するチャンネルを設定します。 - 無線モードが IEEE802.11b、IEEE802.11b/g の場合は、1 ～ 13 の範囲から選択できます。 - 無線モードが IEEE802.11a の場合は、36、40、44、48 から選択できます。
セキュリティ設定	セキュリティの方式を設定します。 通信モードがインフラストラクチャーの場合は なし、WEP-64bit(40bit)、WEP-128bit(104bit)、WPA2-PSK を表示します。 通信モードがアドホックの場合は なし、WEP-64bit(40bit)、WEP-128bit(104bit) を表示します。 ※WPA2-Enterprise は、無線設定 (WPA2-Enterprise) 画面で設定できます。 ※WPA2-Enterprise 設定時に本画面を開いた場合、通信モードはインフラストラクチャー、セキュリティ設定は WPA2-PSK を表示します。
事前共有キー	パスフレーズを入力します。 Hex(16 進) と ASCII のどちらでも入力することができます。 - HEX : 64 桁固定 - ASCII : 8 文字～ 63 文字
デフォルトキー	WEP で使用するキー番号を入力します。 キー 1、キー 2、キー 3、キー 4 ※ 使用するキー番号は、接続するアクセスポイントや STA で同一の設定にする必要があります。
WEP キー 1	WEP キー 1 を入力します。 Hex (16 進) と ASCII のどちらでも入力することができます。 - WEP (64bit) - Hex : 10 文字 - ASCII : 5 文字 - WEP (128bit) - Hex : 26 文字 - ASCII : 13 文字 入力方法の選択はドロップダウンリストで行います。 - Hex - ASCII
WEP キー 2	WEP キー 2 を入力します。入力方法は WEP キー 1 と同じです。
WEP キー 3	WEP キー 3 を入力します。入力方法は WEP キー 1 と同じです。
WEP キー 4	WEP キー 4 を入力します。入力方法は WEP キー 1 と同じです。

無線設定(WPA2-Enterprise)

- 1 Web Config で **【無線設定】** - **【無線設定 (WPA2-Enterprise)】** の順にクリックします。



参考 WPA2-Enterprise 以外を利用する場合は、**【無線設定】** - **【無線設定 (WPA2-Enterprise 以外)】** 画面で設定して下さい。

[13 ページ「無線設定 \(WPA2-Enterprise 以外\)」](#)

- 2 各項目を設定します。
- 3 **【次へ】** をクリックします。
確認画面が表示されます。
- 4 **【設定】** をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

無線設定(WPA2-Enterprise)の設定項目

無線設定 > 無線設定(WPA2-Enterprise)

証明書の時刻検証を行うため、[日付時刻設定](#)ページで正しい時刻が設定されていることを確認してください。

無線 LAN: ☒ 有効 ☐ 無効

無線モード: IEEE802.11b/g/n

ネットワーク(SSID): EpsonNet

認証方式: PEAP/MSCHAPv2

ユーザーID:

パスワード:

パスワード確認入力:

サーバーID:

Anonymous名:

暗号強度: 標準

次へ

項目	説明
無線 LAN	無線 LAN を利用するときは、有効を選択してください。
無線モード	無線モードを設定します。以下のモードを選択できます。 自動、IEEE802.11b、IEEE802.11b/g、IEEE802.11b/g/n、IEEE802.11a、IEEE802.11a/n
ネットワーク (SSID)	SSID を入力します。 入力可能文字は、1 ～ 32 文字の範囲で、半角英数字、半角記号です。
認証方式	プリンターと RADIUS サーバーとの認証方式を設定します。以下の認証方式を選択できます。 • EAP-TLS • PEAP-TLS • PEAP/MSCHAPv2
ユーザー ID	RADIUS サーバーの認証に使う ID を設定します。 最大 128 文字まで入力できます。
パスワード	プリンターを認証するためのパスワードを入力します。 最大 128 文字まで入力できます。 認証方式が PEAP/MSCHAPv2 の場合、空文字列は設定できません。 (認証方式が EAP-TLS、PEAP-TLS の場合はパスワードを使用しないため、入力不要です (グレースアウトします。))
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
サーバー ID	特定の RADIUS サーバーで認証したいときに使用します。設定した文字列 (最大 128 文字) が、RADIUS サーバーから送信されるサーバー証明書の subject フィールドまたは subjectAltName フィールドに含まれているかを検証します。
Anonymous 名	認証方式が [PEAP-TLS] または [PEAP/MSCHAPv2] の場合、PEAP 認証のフェーズ 1 において、ユーザー ID の代わりに匿名を使用したいときに設定します。最大 128 文字です。
暗号強度	以下のいずれかを選択します。 • 高い: AES256/3DES • 標準: AES256/3DES/AES128/RC4

証明書の設定

- 1 Web Config で [無線設定] - [証明書] の順にクリックします。
- 2 [相手サーバー検証に使用する CA 証明書] で使用する電子証明書を選択します。
- 3 [使用するクライアント証明書] で使用する電子証明書を選択します。
- 4 [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
- 5 [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

無線設定 > 証明書

相手サーバー検証用CA証明書

相手サーバー検証用CA証明書1

インポート 表示 削除

相手サーバー検証用CA証明書2

インポート 表示 削除

クライアント証明書

クライアント証明書1

インポート 表示 削除

クライアント証明書2

インポート 表示 削除

CSR

生成 ダウンロード(PEM) ダウンロード(DER)

相手サーバー検証に使用するCA証明書: 使用しない

使用するクライアント証明書: 使用しない

設定

画面の説明については、以下を参照してください。

[🔗 11 ページ「プリンターのサーバー証明書の設定」](#)

CA 署名証明書の取得とインポート

CA 署名証明書を取得する

CA 署名証明書を取得するには CSR（証明書発行要求）を生成し、CA 局に申請します。CSR はプリンターの Web Config かコンピューターで生成してください。

ここでは Web Config から取得する方法を説明します。Web Config で生成した CSR の証明書は PEM/DER 形式です。

1 Web Config で **[ネットワーク設定] - [SSL/TLS] - [証明書]**、または **[無線設定] - [証明書]** の **[CSR]** 欄から **[生成]** を選択します。

- HTTPS でアクセスする場合は、**[ネットワーク設定] - [SSL/TLS] - [証明書]** の順にクリックします。
- WPA2-Enterprise で取得する場合は、**[無線設定] - [証明書]** の順にクリックします。

2 各項目を設定します。



対応している公開鍵長や省略の可否は CA 局によって異なる場合があります。申請する CA 局のルールに従って記載してください。

3 **[設定]** をクリックします。

設定完了のメッセージが表示されます。

4 **[ネットワーク設定] - [SSL/TLS] - [証明書]**、または **[無線設定] - [証明書]** を選択します。

- HTTPS でアクセスする場合は、**[ネットワーク設定] - [SSL/TLS] - [証明書]** の順にクリックします。
- WPA2-Enterprise で取得する場合は、**[無線設定] - [証明書]** の順にクリックします。

5 CA 局規定のファイル形式に従い、**[CSR]** のダウンロードボタンをクリックして、CSR をコンピューターにダウンロードします。



再度 CSR を生成しないでください。交付された CA 署名証明書がインポートできなくなります。

6 保存した CSR を CA 局に送付し、CA 署名証明書を入手します。

送付方法や送付形態は、CA 局の規定に従ってください。

7 入手した CA 署名証明書をプリンターに接続しているコンピューターに保存します。

指定場所に CA 署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

CSR の設定項目

無線設定 > 証明書

公開鍵長：	2048bit
コモンネーム：	192.168.192.240,EPSON12345.local,EPSON12345
組織名：	
部署名：	
市町村名：	
都道府県名：	
国コード：	

設定 戻る

項目	説明
公開鍵長	CSR 作成に用いる公開鍵長を設定します。 以下の鍵長を選択できます。 • 1024bit • 2048bit • 4096bit
コモンネーム	1～127文字で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。 設定例： Web Config にアクセスする UR：https://10.152.12.225 コモンネーム：10.152.12.225 ※スペースと以下の文字列は設定できません。 • ピリオドを含まない 64 文字以上の文字列 • 数字で始まる文字列
組織名	ASCII(0x20-0x7E) で表せる 0～64 文字で入力できます。
部署名	
市町村名	
都道府県名	
国コード	ISO-3166 で規定している 2 文字の国コードを入力します。

CA 署名証明書をインポートする

！重要

- プリンターの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。
- Web Config で生成した CSR で証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。証明書をインポートし直したい場合は、証明書を削除した上で、再度 CSR を生成する手順から実施してください。

1

Web Config で **[ネットワーク設定] - [SSL/TLS] - [証明書]**、または **[無線設定] - [証明書]** を選択します。

- HTTPS 通信で使用する証明書をインポートする場合は、**[ネットワーク設定] - [SSL/TLS] - [証明書]** の順にクリックします。
- WPA2-Enterprise で使用する証明書をインポートする場合は、**[無線設定] - [証明書]** の順にクリックします。

2

インポートする証明書の **[インポート]** ボタンをクリックします。

証明書インポート画面が開きます。

3

各項目を設定します。

インポートの設定内容は、CSR の生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。

- Web Config から取得した PEM/DER 形式の証明書
秘密鍵：プリンターで保持しているため設定しない
パスワード：設定しない
CA 証明書 1、CA 証明書 2：任意
- コンピューターから取得した PEM/DER 形式の証明書
秘密鍵：設定する
パスワード：設定しない
CA 証明書 1、CA 証明書 2：任意
- コンピューターから取得した PKCS#12 形式の証明書
秘密鍵：設定しない
パスワード：任意
CA 証明書 1、CA 証明書 2：設定しない

4

[設定] をクリックします。

インポート成功のメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示された場合は、以下を参照してください。

 [24 ページ「CA 署名証明書インポートでエラーメッセージが表示された」](#)

参考

[表示] をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

CA 署名証明書のインポート設定項目

ネットワーク設定 > SSL/TLS > 証明書

サーバー証明書:

秘密鍵:

パスワード:

CA証明書1:

CA証明書2:

項目	説明
サーバー証明書	取得した CA 署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。
秘密鍵	コンピューターで生成した CSR で PEM/DER 形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	秘密鍵暗号のためのパスワードを 48 文字以下の ASCII 文字コード (0x20-0x7E) で入力します。 入力した文字は、「*」で表示されます。
CA 証明書 1	ファイル形式が [証明書 (PEM/DER)] の場合、サーバー証明書を発行した CA 局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA 証明書 2	ファイル形式が [証明書 (PEM/DER)] の場合、[CA 証明書 1] を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

【無線設定】-【証明書】画面の相手サーバー検証用 CA 証明書のインポート設定項目

無線設定 > 証明書

相手サーバー検証用CA証明書:

項目	説明
相手サーバー検証用 CA 証明書	インポートする CA 証明書ファイルを指定します。

自己署名証明書の更新

本製品は HTTPS サーバー機能を搭載しており、自己署名証明書の更新ができます。自己署名証明書を使用した場合、Web Config の起動時にウェブブラウザより警告メッセージが表示されます。

自己署名証明書は、CA 署名証明書を取得しインポートするまでの期間中一時的に使用する事をお勧めします。

- 1 Web Config で [ネットワーク設定] - [SSL/TLS] - [証明書] の順にクリックします。
- 2 [更新] をクリックします。
- 3 [コモンネーム] を入力します。
プリンターにアクセスする IP アドレスや FQDN 名などの識別子を入力します。1 ～ 127 文字以内で入力できます。
- 4 証明書の有効期間を選択します。
- 5 [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
- 6 [設定] をクリックします。
設定完了のメッセージが表示されます。

自己署名証明書更新の設定項目

ネットワーク設定 > SSL/TLS > 証明書

公開鍵長:	2048bit
コモンネーム:	192.168.192.168,EPSONED0000.local,EPSONED0000
組織名:	SEIKO EPSON CORP.
有効期間開始日時 (UTC):	2014-04-02 08:15:18 UTC
有効期間 (年):	10

次へ 戻る

項目	説明
公開鍵長	「2048bit」で固定です。
コモンネーム	1～127文字で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。 設定例： Web Config にアクセスする URL : https://10.152.12.225 コモンネーム : 10.152.12.225 ※スペースと以下の文字列は設定できません。 ・ピリオドを含まない 64 文字以上の文字列 ・数字で始まる文字列
組織名	「SEIKO EPSON CORP.」で固定です。
有効期間開始日時 (UTC)	この自己署名証明書更新画面を開いた時点でのプリンターの時刻 (UTC) を表示します。
有効期間 (年)	1 ～ 10 年の有効期間をプルダウンリストで表示します。 ※2038 年 1 月 19 日 3 時 14 分 7 秒よりも長い有効期限が設定された場合は、自己署名証明書の有効期限として 2038 年 1 月 19 日 3 時 14 分 7 秒を設定します。

トラブルを解決する

ネットワークの設定や印刷のトラブル対処方法を説明します。

本書に記載されていないプリンターに関する情報は以下のマニュアルをご覧ください。

 [ユーザーズガイド](#)

プリンターをコンピューターから使う方法やインクカートリッジの交換方法、トラブルの解決方法が記載されています。

ソフトウェア使用時のトラブル

Web Config にアクセスできない

 [5 ページ「Web Config の起動」](#)



プリンターに IP アドレスを設定していますか？

EpsonNet Config で IP アドレスを設定してください。現在の設定は、ステータスシートで確認できます。

 [ユーザーズガイド「ステータスシート」](#) - 「ネットワーク設定」



SSL/TLS の暗号強度が【高い】になっていませんか？

【暗号強度】を【高い】に設定すると、AES（256 ビット）または 3DES（168 ビット）をサポートしているウェブブラウザでないと Web Config を起動できません。ブラウザの暗号強度の対応ビットをご確認ください。



Web Config に SSL 通信 (https) で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されましたか？

証明書の有効期限が切れていたら証明書を取得し直してください。証明書の有効期限内に表示される場合は、プリンターの時刻が正しく設定されているか確認してください。



Web Config に SSL 通信 (https) で接続したときに「セキュリティ証明書の名前が一致しません」と表示されましたか？

自己署名証明書または CSR の作成時に【コモンネーム】で記述したアドレスとウェブブラウザに入力したアドレスが一致していません。証明書を取得し直すか、プリンター名を変更してください。

EpsonNet Config で製品名や IP アドレスが表示されない

 [5 ページ「Web Config の起動」](#)



Windows セキュリティの重要な警告画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、【ブロックする】、【キャンセル】や【遮断する】を選択しましたか？

【ブロックする】、【キャンセル】や【遮断する】を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet Config または EpsonNet Setup で製品名が表示されません。

通信を可能にするには、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトで EpsonNet Config を例外アプリケーションとして登録してください。それでも表示できないときは、市販のセキュリティソフトを終了してから EpsonNet Config を再度起動してください。



通信エラーのタイムアウトが短い設定になっていませんか？

EpsonNet Config の【ツール】 - 【オプション】 - 【タイムアウト】で、【通信エラー】とする時間を大きい値に変更してみてください。ただし、検索に時間がかかるため EpsonNet Config の動作は遅くなります。

セキュア環境への接続時のトラブル

IEEE802.1X を設定したのに繋がらない



設定が間違っている可能性があります。

プリンターとコンピュータをイーサネットケーブルで接続して、WPA2-Enterprise の設定をやり直してください。

[14 ページ「無線設定 \(WPA2-Enterprise\)」](#)

電子証明書使用時のトラブル

サーバー証明書が認証されない

[16 ページ「証明書の設定」](#)



Web Config の【無線設定】 - 【証明書】画面の「相手サーバー検証に使用する CA 証明書」には、ルート CA 局が発行したサーバー証明書を設定してください。

中間 CA 局が発行したサーバー証明書を設定した場合、認証処理でエラーとなります。

CA 署名証明書のインポートができない

[19 ページ「CA 署名証明書をインポートする」](#)



入手した CA 署名証明書と作成した CSR の情報が一致していますか？

CA 署名証明書と CSR は、同一の情報を有していないとインポートできません。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器で CSR を作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしていませんか？
情報を確認して、一致する機器にインポートしてください
- CA 局に CSR を送付した後、プリンターに保存されている CSR を再生成しましたか？
再生成した CSR で CA 署名証明書を取得し直してください。



入手した CA 署名証明書のファイル容量が 5KB を超えていませんか？

5KB を超える CA 署名証明書は、インポートできません。



証明書をインポートする際のパスワードは正しいですか？

間違ったパスワードでは、証明書をインポートできません。

自己署名証明書が更新できない

[21 ページ「自己署名証明書の更新」](#)



コモンネームが未入力ではありませんか？

【コモンネーム】は必ず入力してください。



コモンネームに入力可能な文字以外（例：日本語）を入力していませんか？

IPv4、ホスト名、FQDN のいずれかの形式を ASCII (0x20-0x7E) で表せる 1 ～ 127 文字以内で指定します。



コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？

カンマが入力されると【コモンネーム】はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

CSR が作成できない

[17 ページ「CA 署名証明書を取得する」](#)

- 
コモンネームが未入力ではありませんか？
 [コモンネーム] は必ず入力してください。
- 
コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に入力可能な文字以外を入力していませんか？例えば日本語は使えません。
 IPv4、ホスト名、FQDN のいずれかの形式を ASCII (0x20-0x7E) で表せる文字で指定します。
- 
コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？
 カンマが入力されると [コモンネーム] はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

CA 署名証明書インポートでエラーメッセージが表示された

メッセージ	原因と対処
日付 / 時刻が設定されていません。	原因： 日時未設定の場合に表示します。 対処： Web Config の [システム設定] - [日付時刻設定] で時刻を設定してください。
不正なファイルです。	原因： ファイル形式が X.509 形式ではありません。 対処： 信頼された CA 局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。
	原因： インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは 5KB までです。 対処： 正しいファイルを選択しているか確認してください。ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。
	原因： 証明書に含まれるチェーンが不正です。 対処： 証明書の詳細は CA 局の Web サイトをご覧ください。
3 つ以上の CA 証明書が含まれた証明書は使用できません。	原因： PKCS#12 形式の証明書ファイルに 3 つ以上の CA 証明書が含まれています。 対処： PKCS#12 形式から複数の PEM 形式に変換して個別にインポートするか、2 つ以下の CA 証明書で PKCS#12 形式ファイルを再作成してインポートしてください。
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、またはプリンターの日付 / 時刻設定を確認してください。	原因： 証明書の有効期限が切れています。 対処： ・ 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書を CA 局から取得してインポートしてください。 ・ 証明書の有効期限が切れていない場合、プリンターの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。
パスワードが正しくありません。	原因： CA 証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。 対処： 正しいパスワードを入力してください。

メッセージ	原因と対処
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	原因： 証明書と対になった秘密鍵がありません。 対処： ・ コンピューターで生成した CSR で取得した PEM/DER 形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 ・ コンピューターで生成した CSR で取得した PKCS#12 形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。
	原因： WebConfig で生成した CSR で取得した PEM/DER 形式の証明書を再度インポートしようとした。 対処： Web Config で生成した CSR で取得した PEM/DER 形式の証明書は、一度しかインポートできません。
設定に失敗しました。	原因： プリンターとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。 対処： 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。

CA 署名証明書を誤って削除した



CA 署名証明書をバックアップ保存したファイルがありますか？

CA 署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。Web Config で生成した CSR で取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSR を再生成して証明書を取得し直してください。

設定や印刷に関するトラブル

ネットワーク設定ができない / ネットワーク印刷ができない



コンピューターなどプリンターを利用する機器の電源が入っていますか？

コンピューターなどプリンターを利用する機器の電源が入っていることを確認してください。また、それらの機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるかも確認してください。



イーサネットケーブルがプリンター、ハブなどネットワーク機器と正しく接続されていますか？

イーサネットケーブルが正しく接続されていること、ハブなどのネットワーク機器の電源が入っていることを確認してください。



ネットワーク上の他の機器の電源が入っていますか？

ネットワーク上の他の機器の電源が入っていることを確認してください。



アクセスポイントの電源が入っていますか？

アクセスポイントの電源が入っていないときは、電源を入れてから再度プリンターのネットワーク設定をしてください。



プリンターとアクセスポイントは近くに置いて設定してください。

入力したネットワーク（SSID）が正しいかを確認して、再度入力してください。ネットワーク（SSID）は、ステータスシートで確認できます。

 [ユーザズガイド「ステータスシート」 - 「ネットワーク設定」](#)

- 
アドホック接続していますか？
 - ・ アドホック接続するときは、始めにコンピューターのアドホック設定を行い、接続を開始している状態で再度プリンターのネットワーク設定をしてください。
 - ・ アドホック接続時は、接続するコンピューターの電源が入っているかを確認してください。入っていないときは、電源を入れてから再度プリンターのネットワーク設定をしてください。
- 
プリンターと接続するコンピューターは近くに置いて設定してください。

アドホック接続の場合、プリンターと接続するコンピューターは近くに置いて設定してください。
- 
アクセスポイントに設定されている無線規格がプリンターの対応する無線規格と一致していますか？

一致していないときは、アクセスポイントの無線規格をプリンターの対応する無線規格と合わせてください。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- 
アクセスポイントのセキュリティ方式を確認してください。

アクセスポイントが以下のいずれかのセキュリティ方式になっているかを確認し、なっていない場合は、アクセスポイントの設定を変更して、再度プリンターのネットワーク設定をしてください。

 - WEP-64bit (40bit)
 - WEP-128bit (104bit)
 - WPA2 Personal
 - WPA2-Enterprise (EAP-TLS、PEAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2 のいずれか)
- 
アクセスポイントの MAC アドレスフィルタリング機能が有効になっていますか？

アクセスポイントのマニュアルを参照して、MAC アドレスフィルタリング機能を確認してください。フィルタリング機能が「有効」のときは、プリンターの MAC アドレスを登録し、プリンターがフィルタリングされないように設定してください。プリンターの MAC アドレスは、ステータスシートで確認できます。

📖 [ユーザズガイド「ステータスシート」](#) - 「ネットワーク設定」
- 
アクセスポイントの WEP セキュリティ方式で Shared 認証が有効になっていますか？

アクセスポイントの WEP セキュリティ方式で Shared 認証が「有効」のときは、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
- 
アクセスポイントに設定されているセキュリティキーと入力した事前共有キーが一致していることを確認してください。

大文字、小文字を含めて正しい事前共有キーで再度設定してください。
- 
プリンターの TCP/IP 設定を「手動設定」にしていますか？
 - ・ プリンターの TCP/IP 設定を「自動設定」にしているときは、アクセスポイントの DHCP 機能を確認し、無効になっているときは有効に変更してください。
 - ・ プリンターの TCP/IP 設定を「手動設定」にしているときは、手動で設定した IP アドレスが有効範囲外 (0.0.0.0 など) のため、無効になっています。再度有効な IP アドレスを入力してください。
 - ・ プリンターの TCP/IP 設定を「手動設定」にしているときはネットワークアドレス (IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ) が正しいかも確認してください。ネットワークアドレスに問題があったときは、正しいアドレスに変更してください。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ステータスシートで確認できます。
 - 📖 [ユーザズガイド「ステータスシート」](#) - 「ネットワーク設定」
 - ・ プリンターの TCP/IP 設定を「手動設定」にしたときは、プリンターに手動で設定したデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいこと、デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っていることを確認してください。デフォルトゲートウェイに問題があったときは、正しいアドレスに変更してください。デフォルトゲートウェイは、ステータスシートで確認できます。
 - 📖 [ユーザズガイド「ステータスシート」](#) - 「ネットワーク設定」
- 
他の機器のネットワークアドレス(サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ)は同一になっていますか？
- 
他の機器の IP アドレスと重複していませんか？

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ステータスシートで確認できます。

📖 [ユーザズガイド「ステータスシート」](#) - 「ネットワーク設定」

 プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、プリンターに同梱の CD-ROM を使ってネットワーク設定をしてください。

EpsonNet Setup の [プリンターの選択] 画面に対象のプリンターが表示されたときはそのまま進み、[TCP/IP の設定] 画面でプリンターの IP アドレスをネットワーク環境に合わせて設定してください。

対象プリンターが検索できないときは、事前共有キーが間違っている可能性があります。正しい事前共有キーを設定してください。

 セキュリティ方式「WEP」でアクセスポイントに複数のセキュリティキーを登録していますか？

セキュリティ方式「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティキーを登録することができます。複数の WEP キーが登録されているときは、アクセスポイントに登録されているキー番号と同じ番号 (WEP キー 1 ~ 4) に、セキュリティキーを登録してください。キー番号が双方で異なると、セキュリティキーが正しくても接続できません。

 ハブ、イーサネットケーブルなどは正常に機能していますか？

プリンターの電源が入っていて、プリンターを接続しているハブのポートのリンクランプが点灯または点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯しているときは、以下を確認してください。

- ・ 他のポートに接続してみる
- ・ 他のハブに接続してみる
- ・ イーサネットケーブルを交換してみる

以上を確認しても通信ができないときは、プリンターが故障している可能性があります。プリンターのマニュアルを参照してください。

 [ユーザズガイド「トラブルシューティング」](#)

 プリンターの設定に失敗していませんか？

プリンターの設定に間違いがある可能性があります。購入時の設定に戻してからネットワーク設定をやり直してください。購入時の設定に戻すには、EpsonNet Config で「工場出荷時設定」または「リセット」を実行します。パスワードを忘れてしまったときはインフォメーションセンターにご相談ください。

WSD を使用してセットアップできない

 ご使用のコンピューターの OS は Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2012/Windows Server 2008 ですか？

WSD は上記 OS の標準のプロトコルです。それ以外の OS では使用できません。

 セットアップに失敗していませんか？

各 OS の説明書を参照してセットアップをやり直してください。

設定する IPv4 アドレスがわからない

 IP アドレスは、ステータスシートで確認してください。

 [ユーザズガイド「ステータスシート」 - 「ネットワーク設定」](#)

設定した IP アドレスが変わってしまう



ルーターなどで DHCP 機能を使用していないか？

DHCP 機能でプリンターに IP アドレスを設定すると、プリンターの電源を入れるたびにコンピューターに設定したプリンターポートを変更しなければなりません。

以下のいずれかの方法でプリンターに固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

- DHCP 機能を持つ機器のスコープ(クライアントに割り当てる IP アドレスの範囲)の範囲外の IP アドレスを設定する。
- DHCP 機能を持つ機器のバインドを使用して、プリンターを特定する。
- DHCP 機能を持つ機器で除外アドレスに設定する。

参考

- スコープ範囲、バインド、除外アドレスなどの設定方法は、ルーターなど DHCP 機能を持つ機器のマニュアルを参照してください。
- プリンターをダイヤルアップルーター使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。

意味不明の文字が大量に印刷された



印刷ポートの設定は適切ですか？

プリントサーバーにインストールされているドライバーの印刷ポートとプリンターが一致しているか確認してください。